

地方における若手科学者を中心とした学術活動の活性化
シチズンサイエンスを通じた地方課題解決
～市民と科学者が“つながる場”について考える～



日時：3月2日（土）第一部 13:00～17:00
第二部 17:30～19:00

場所：（第一部）電気ビル本館地下2階・7号会議室
（第二部）電気ビル共創館3階・BIZCOLI
＊地下鉄七隈線・渡辺通り駅から徒歩



参加費：無料 **定員：**80名（事前参加申し込み推奨）

市民と向き合うことで地域課題の解決に取り組む行政や、地域で長らく科学コミュニケーション活動に取り組む方々を交えて、市民を巻き込む新しい学術のあり方について議論し、地域だからこそ生きてくる市民と学者の共創について考えます。

第一部（講演会＆公開討論）（基調講演、話題提供後に討論を予定）

【基調講演】

「オープンな情報流通によって変容するシチズンサイエンスの可能性」
林 和弘（文部科学省科学技術・学術政策研究所 上席研究官）

「シチズンサイエンスは学術研究をどう変えるか」
中村征樹（日本学術会議連携会員、大阪大学全学教育推進機構 准教授）

参加申し込みは
こちらから



【話題提供】

地方を舞台とするシチズンサイエンスの可能性ー福岡での取り組みを中心としてー
「社会課題解決に向けた福岡市の新たな挑戦：実証実験フルサポートによる先端技術の社会実装促進とSociety 5.0の実現（予定）」福岡市総務企画局
「福岡ヘルス・ラボを中心とした産官学連携：市民参加型共創的イノベーションの仕組みづくり（予定）」福岡市保健福祉局
「地域におけるサイエンスカフェ活動から見える市民巻き込み型学術の可能性」
吉岡瑞樹（九州大学大学院理学研究院 准教授、サイエンスカフェ@ふくおか 運営者）
「サイエンスパブ in 福岡：市民と学者の”ガチだが気軽な対話”から生まれるもの」
山岡 均（国立天文台天文情報センター）

第二部（サイエンスカフェ）（定員40名: 要・事前申し込み、別紙参照）

【話題提供】「身体も心！～心理学のこれから～」山田祐樹（九州大学 准教授）
合わせてサイエンスコミュニケーションのこれからについても議論する予定です。



公益財団法人九州経済調査協会
KYUSHU ECONOMIC RESEARCH CENTER

BIZCOLI
BIZ COMMUNICATION LIBRARY



主催：日本学術会議若手アカデミー

共催：九州大学科学技術イノベーション政策教育研究センター（CSTIPS）、九州大学分子システム科学センター（CMS）、公益財団法人九州経済調査協会BIZCOLI

後援：国立研究開発法人科学技術振興機構（JST）、福岡市、日本認知心理学会心理学の信頼性研究部会、日本心理学会サイエンスコミュニケーション研究会

お問い合わせ：岸村顕広（日本学術会議連携会員/若手アカデミー代表、九州大学大学院工学研究院/CMS）TEL: 092-802-2851